

ワークダイバーシティによる、働くことを土台とする持続可能で選ばれる都市づくり

交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

本市の人口は1985年以降減少傾向にあり、最新の国勢調査(2020年10月1日)では、40.2万人であるが、2040年には35.1万人と、約5万人減少すると推計しており、少子高齢化の進展とともに、税収減・社会保障関係費の増が見込まれることにもない、生産年齢人口も減少し、2040年には19.4万人(2020年比19.5%減)になると推計しており、労働需要に対する供給不足が懸念される。

一方で、有効求人倍率が1.58倍に対し、完全失業率は2.3%ありミスマッチが生じており、この流れで推移すると、生産年齢人口の減少に加え、労働需給にミスマッチが起こり、労働力が減少することで社会経済を支え切れなくなる。

このような状況下で、障がい者や女性等、働く意思があるにも関わらず就労機会に恵まれない人がいる現状や、ワークライフバランスを重視する人が増えている中で、男性の育児休暇取得率やテレワークの実施率が低調であるという現状から、潜在的な労働力を顕在化するとともに、既に就労している方も含め、多様で柔軟な働き方を推進していく必要がある。多様で柔軟な働き方を推進することは、企業が必要な労働力を確保するためにも重要である。

また、本市は企業数が減少傾向にあるうえ、創業比率は全国平均よりも低く、さらには、サービス産業中心の産業構造に加え、中小企業が多く、テレワーク等のDXの対応が遅れている状況にある。

そこで地域経済を牽引する担い手の創出や雇用を創出するために、既存産業の持続可能な経営体制づくりを支援するとともに、企業や人を呼び込み、人々が働く場を確保していく必要がある。

本市では、働くことを土台とする都市づくりとして、多様な働き方の支援と働く場の創出に取り組み、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、働きたい人が境遇に応じて働くことができ、やりたい、やりがいのある仕事や職業に就くことができる環境を通じて地域に雇用と成長の好循環を生み、すべての人にとって居場所や出番があって、幸せに暮らすことのできるまちを目指す。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

【全体】

・本市の生産年齢人口は減少傾向にあり、2040年には19.4万人(2020年比19.5%減)になると推計している。

また、人口減少の進行とともに社会保障関係費は年々増加しており、令和3年度予算では過去最高額を計上するなど、

①多様な働き方の支援(雇用)と②働く場の創出(成長)に向けた取り組みが必要である。

・市民の意識調査において、「就労環境に恵まれたまちだと思う」人の割合は、30%前後で推移しているとともに、同調査での各政策の満足度と優先度については、最優先で改善すべき政策に「柔軟で働きやすい環境の充実」が挙げられており、就労環境改善の取り組みが求められている。

①働きたい(働ける)のに、働きにくい

・本市における障害者手帳等所持者数は年々増加しており、岐阜市の民間企業における障がい者雇用率についても上昇傾向にあるが、2020年は2.01%と、全国の雇用率(2.15%)よりも低い。

一方で、岐阜市のアンケート調査では、障がい者で現在仕事をしていない人のうち、「働きたい」、「働きたいが難しい」と回答した人が半数以上おり、障がいのある人が働くための環境として、事業主や職場の理解と配慮、障がいの特性等にあった仕事や整った就労条件、設備などが求められている。

・本市における女性の年齢階層別労働力率は、子育て世帯の多い30～34歳(71.5%)が最も低いM字型となっており、岐阜市のアンケート調査(子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書)では、母親の約4割が「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答しており、出産・育児を契機に離職する女性が多い。

また、働いていない母親の22.7%が「すぐにでも(1年以内に)就労したい」、59.0%が「子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答するなど、出産・子育て等で一時離職した方等の再就職を支援していく必要がある。

・本市における男性の育児休暇取得率(岐阜市労働実態調査)は、9.7%であり、前年度から5.7ポイント上昇しているものの、国の12.6%(雇用均等基本調査)より低い水準である。また、地域別のテレワーク実施率(新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査)は、東京23区で55.2%、全国で32.2%であるのに対し、地方圏では23.5%に留まる。

また、同調査において、WLB(ワーク・ライフ・バランス)の意識変化の項目では、「感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化」としたと回答した人の割合が全体で50.4%に対し、「仕事を重視するように変化」と回答した人の割合は5.3パーセントに留まる等、働き方に対する意識の変化が見られ、現在就労している人に対しても、多様で柔軟な働き方を推進していく必要がある。

②働きたい(働ける)のに、働く場がない

・本市における企業数(経済センサス)は、2016年で15,944社(2009年比17%減)であり、全国の企業数の減少率14%(2009年比)と比較し、減少率が高い。

また創業比率(2014-2016年)は4.46%と、全国平均や中核市平均よりも低く、新たな地域経済を牽引する担い手の創出や雇用を創出するため、スタートアップ支援や企業誘致等に取り組み、やりたい・やりがいのある仕事や職業に就くことができる環境を通じて、企業や人を呼び込む必要がある。

・本市における、産業構造(経済センサス)は第3次産業の割合が高く(84.7%)、卸小売業(24.0%)が最も多いのに続き、医療・福祉(14.3%)、宿泊業・飲食サービス業(10.7%)とサービス産業中心となっている。

また、大企業数が28社(経済センサス)に対して中小企業数が14,799社と多く、産業構造や企業の規模の特徴から、上述のテレワーク実施や、DXへの取り組みの遅れ(取り組み企業の割合は21.9%、取り組み予定がない企業の割合が58.6%(岐阜市中小企業景況調査))が出ている。

対応できない企業は自然淘汰される恐れがあることから、既存産業の持続可能な経営体制づくりを支援し、働く場を確保していく必要がある。

C. 交付対象事業の概要

【全体】

多様な働き方を支援する「雇用」に関する事業と、働く場を創出する「成長」に関する事業を実施することで、雇用と成長の好循環を図り、働くことを土台とした持続可能で選ばれる都市を目指す。

①【雇用（多様な働き方を支援する）】

働く意思はあるが、就労機会に恵まれない方等に対し、それぞれのニーズに合わせた就労環境を整備することで、潜在的な労働力を顕在化し、働くことを支援する。また、圏域で連携し合同企業説明会を行うほか、新たな働き方の取り組みとして副業兼業の推進やワークライフバランスの優良事業者の取り組みを発信することで、新たな就業機会の創出や多様な働き方を推進する。

・「岐阜市ワークダイバーシティ推進事業」

出産・子育て等で一時離職した方の再就職を支援するセミナー及び個別相談の実施（(仮称)子育て等を経た女性の再就職事業）

さまざまな「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて、就労や職場定着の支援を行う（(仮称)WORK!DIVERSITYモデル助成事業）

・「超短時間雇用創出事業」

障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。

概要としては、(仮称)岐阜市超短時間ワーク応援センターを開設し、東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらい、体制を整備する。

また、シンポジウムを開催し、企業や障がい者等に超短時間雇用創出事業や応援センター等を周知する。

・「ぎふ仕事フェア」

岐阜連携中枢都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が

参加する合同企業説明会をハイブリッド形式で実施

・「WLB優良事業者紹介コンテンツの作成」

WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的に行っている企業等（岐阜市男女共同参画優良事業者）の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信

・「ふるさと岐阜市活躍人財バンク」

東京、大阪、名古屋の3大都市圏に在住の岐阜市ゆかりの人財が岐阜市の事業で活躍し、関係人口の増大、ひいてはさらなる転入増加を図るとともに、副業・兼業に優しいまち岐阜市を目指して創設した「ふるさと岐阜市活躍人財バンク」の普及・促進 ※当該要素事業は、別の実施計画の要素事業に位置付けているため、交付対象外

・「バス運転手雇用支援事業」

公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援

②【成長（働く場を創出）】

新たな地域経済の担い手を創出するとともに、産業の新陳代謝を図るために、リノベーションまちづくりや、

スタートアップ支援、企業誘致を推進する。

また、既存産業の持続可能な経営体制づくりを支援するため、民間企業のDX支援を行い、事業の効率化や働きやすい環境の整備につなげる。

・「リノベーションまちづくり事業」

まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源（お店、人、空間、歴史、文化など）の魅力を活かした体験プログラムを開催し、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る

・「スタートアップ支援補助金」

市内で新たに創業する方や創業後5年以内の市内中小企業者の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援

・「ぎふスタートアップ支援事業」

スタートアップ支援相談窓口の運営、岐阜市リモートオフィス(Neo work-Gifu)を活用した多様な働き方モデルの提案 ※当該要素事業は、別の実施計画の要素事業に位置付けているため、交付対象外

・「三輪地域ものづくり産業等集積地再検討事業」

三輪地域の農業6次産業化の事業スキームを検討するとともに、事業採算を含めた事業実施可能性について調査し、モデルプランを取りまとめる

・「中小企業事業資金貸付事業」※交付対象外経費

これまで実施してきた中小企業への融資に要する原資の一部を取扱金融機関に預託する事業に、新たにDXに関するメニューを創設

地域の多様な主体の参画

地方公共団体名						
	分類	産	官	学	住民全般	
岐阜県岐阜市	主体名	地元企業	岐阜連携中枢都市圏を構成する近隣市町	東京大学先端科学技術研究センター	住民	
	主な役割、意見及び改善方策への反映	<p>【役割】市内企業の雇用を確保</p> <p>【意見・改善方策】超短時間雇用創出事業において、広域化により長時間働くことが困難な人の選択肢を増やすことは企業にとっても雇用の確保につながるなどの意見を踏まえ、岐阜圏域全体で事業広域化を図ることとし、そのため応援センター機能を強化する。リノベーションまちづくり事業において、地元まちづくり会社や商店街からはこれまでの取り組みをベースに、日常的な来街者の来店やまちを楽しめる取り組みが必要であるとの意見があった。これらの取り組みや意見を踏まえ、日常的に来街者がまちを楽しめる取り組みへと移行し、担い手同士の交流や、来街者とまちやお店等との関係性をさらに高めるフェーズに進む。</p>	<p>【役割】各自治体が地元企業を合同説明会に参加してもらうよう広報活動を実施</p> <p>【意見・改善方策】超短時間雇用創出事業において、近隣市町からは広域で連携することにより長時間働くことが困難な人の就労の機会の増加につながることで、そのため連携して実施したいとの意見を踏まえ、岐阜圏域全体で事業広域化を図ることとし、そのため応援センター機能を強化する。</p>	<p>【役割】超短時間雇用実施に係る実施状況の共有、現状分析。</p> <p>【意見・改善方策】超短時間雇用創出事業において、岐阜圏域全体で事業広域化を図ることは東京大学の掲げる「長短時間雇用モデル」初の広域化で先駆的な取り組みであるとの評価を受け、応援センター機能を強化する。</p>	<p>【役割】まちの新旧の様々な資源(お店、人、空間、歴史、文化など)の魅力を活かした体験プログラムの開催</p> <p>【意見・改善方策】参加者が増え、人とのつながりが生まれ、自らのライフスタイルに合わせた働き方が生まれる(可能性はある)ことや、商業・小売店を知ることで就職に繋がることから延長の意見がある。子育て世代への就労についての意見を事業内容に反映。</p>	

<2022年度(1年目)>

全事業期間における本年の位置付け		道の駅を整備するとともに、一次産業従事者による付加価値の高い特産品の開発に取り組む。また、農産物の販路開拓を検討する。					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2022年4月	2023年3月	2022年3月	当初	年月		年月	
交付対象事業経費							#REF!
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	8	計	65,840千円
1	岐阜市ワークダイバーシティ推進事業		関連するKPI		①、③		1,176千円
	<p>・(仮称)子育て等を経た女性の再就職事業: 出産・子育て等で一時離職した方の再就職を支援するセミナー及び個別相談の実施する。(地域女性活躍推進交付金対象事業のため、事業費の計上無し)</p> <p>・(仮称)WORKDIVERSITYモデル助成事業: さまざま「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて就労や職場定着の支援を行う。(公財)日本財団のモデル事業)</p> <p>・補助金: 1,155千円 (プロポーザル経費)</p> <p>・報酬: 19千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償): 2千円</p> <p>・需用費(委員食糧費): 0千円</p>						
2	超短時間雇用創出事業		関連するKPI		③		13,033千円
	<p>障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。</p> <p>概要としては、(仮称)岐阜市超短時間ワーク応援センターを開設し、東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらい、体制を整備する。</p> <p>また、シンポジウムを開催し、企業や障がい者等に超短時間雇用創出事業や応援センター等を周知する。</p> <p>((仮称)岐阜市超短時間ワーク応援センター)</p> <p>・委託料: 11,997千円</p> <p>・消耗品費: 20千円</p> <p>(東京大学先端科学技術研究センター)</p> <p>・委託料: 900千円</p> <p>(シンポジウム関連)</p> <p>・報償費: 47千円</p> <p>・旅費: 0千円</p> <p>・需用費(食糧費): 3千円</p> <p>・使用料及び賃借料: 0千円</p> <p>・需用費(印刷製本費): 66千円</p>						
3	ぎふ仕事フェア		関連するKPI		③		8,239千円
	<p>岐阜連携中核都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が参加する合同企業説明会をハイブリッド形式で実施する。</p> <p>・事業用品費: 0千円</p> <p>・郵便料: 0千円</p> <p>・会場使用料: 0千円</p> <p>・業務委託料: 8,239千円</p>						
4	WLB優良事業者紹介コンテンツの作成		関連するKPI		③		417千円
	<p>WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的に行っている企業等(岐阜市男女共同参画優良事業者)の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信する。</p> <p>・委託料: 417千円</p>						
5	バス運転手雇用支援事業		関連するKPI		③		600千円
	<p>公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援する。</p> <p>・負担金: 600千円</p>						
6	リノベーションまちづくり事業		関連するKPI		②、③		27,960千円
	<p>まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源(お店、人、空間、歴史、文化など)の魅力を活かした体験プログラムを開催し、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。</p> <p>・業務委託料: 27,960千円</p>						
7	スタートアップ支援補助金		関連するKPI		③		6,563千円
	<p>市内で新たに創業する方や創業後5年以内の市内中小企業者の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援する。</p> <p>・補助金: 6,532千円</p> <p>・報酬: 28千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償): 3千円</p> <p>・食糧費: 0千円</p>						
8	三輪地域ものづくり産業等集積地再検討事業		関連するKPI		③		7,852千円
	<p>三輪地域の農業6次産業化の事業スキームを検討するとともに、事業採算を含めた事業実施可能性について調査し、モデルプランを取りまとめる</p> <p>・委託料: 7,810千円</p> <p>・報酬: 37千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償): 4千円</p> <p>・需用費(食糧費): 1千円</p>						

<2023年度(2年目)>

全事業期間における本年の位置付け		『本物志向』の地域資源の用による、まちの魅力の市内外への浸透					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2023年4月	2024年3月	2023年3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費							87,220千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	8	計	87,220千円
1	岐阜市ワークダイバーシティ推進事業		関連するKPI	①、③			
	<p>・女性の就業・活躍促進事業: 女性求職者向け連続講座の実施及び市内事業者向け職場のジェンダーギャップ解消等を目的としたセミナー等を実施する。(地域女性活躍推進交付金対象事業のため、事業費の計上無し)</p> <p>・WORKDIVERSITY実証化モデル助成事業: さまざまな「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて就労支援を行う。(公財)日本財団のモデル事業)</p> <p>・若者・学生の就労支援事業: 令和4年度はゼロ予算で若者・学生の就労にかかる実態を把握するため、市内の大学等の協力を得て実態調査を行った。令和5年度は無業・不安定な状況にあり孤立化する恐れのある若者・学生の求職者向け連続講座の実施及び市内事業者向け働きづらさを抱える若者・学生の特性や適性の理解などをテーマにした啓発セミナーを開催する。</p> <p>・補助金: 11,912千円</p> <p>→ ワークダイバーシティ推進のためのモデル事業として実施するもので、求職者の募集・受付や求職者と就労移行支援事業等との仲介を行う事業者1者に対し、その運営に係る経費(人件費や広報、消耗品等)として総事業費の2割を補助するもの</p> <p>・委託費: 3,000千円</p> <p>→ 市内事業者向けの啓発セミナーや求職者(若者・学生)向けの講座等を委託により実施するもの。委託事業者についてはプロポーザルにより選定。</p> <p>(プロポーザル経費)</p> <p>・報酬: 91千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償): 10千円</p> <p>・需用費(委員食糧費): 1千円</p>						15,014千円
2	超短時間雇用創出事業		関連するKPI	③			
	<p>障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。</p> <p>概要としては、令和4年度に開設した岐阜市超短時間ワーク応援センターについて、令和5年度以降も引き続き東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらいながら、体制を強化する。</p> <p>また、令和5年度は当該事業や応援センターを周知するとともに、当該事業の推進のために重要な職務定義を企業等とともに実施するワークショップを開催する。</p> <p>(岐阜市超短時間ワーク応援センター)</p> <p>・委託料: 13,368千円</p> <p>・消耗品費: 20千円</p> <p>・管理諸費: 35千円</p> <p>(東京大学先端科学技術研究センター)</p> <p>・委託料: 900千円</p> <p>(シンポジウム関連)</p> <p>・報償費: 170千円</p> <p>・旅費: 75千円</p> <p>・需用費(食糧費、印刷製本費、通信運搬費): 458千円</p> <p>・使用料及び賃借料: 151千円</p>						15,177千円
3	ぎふ仕事フェア		関連するKPI	③			
	<p>岐阜連携中核都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が参加する合同企業説明会をハイブリッド形式で実施する。</p> <p>・事業用品費: 1千円</p> <p>・郵便料: 16千円</p> <p>・会場使用料: 983千円</p> <p>・業務委託料: 8,501千円</p>						9,501千円
4	WLB優良事業者紹介コンテンツの作成		関連するKPI	③			
	<p>WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的にを行っている企業等(岐阜市男女共同参画優良事業者)の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信する。</p> <p>・委託料: 670千円</p>						670千円
5	バス運転手雇用支援事業		関連するKPI	③			
	<p>公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援する。</p> <p>・負担金: 600千円</p>						600千円
6	リノベーションまちづくり事業		関連するKPI	②			
	<p>まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源(お店、人、空間、歴史、文化など)の魅力を活かした体験プログラムを開催し、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。</p> <p>・業務委託料: 29,069千円</p>						29,069千円
7	スタートアップ支援補助金		関連するKPI	③			
	<p>市内で新たに創業する方や第二創業、創業後5年以内の市内中小企業者及び個人事業主等の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援する。</p> <p>・補助金: 12,000千円</p> <p>・報酬: 82千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償): 6千円</p> <p>・食糧費: 1千円</p>						12,089千円
8	三輪地域における「ものづくり産業等集積地計画」推進事業		関連するKPI	③			
	<p>三輪地域における民間活力による農業6次産業化の事業展開の可能性調査を推進し、早期の事業展開を図る。</p> <p>・委託料: 5,100千円</p>						5,100千円

<2024年度(3年目)>

全事業期間における本年の位置付け		「多様な働き方(雇用)」と「働く場の創出(成長)」の好循環の定着					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2024年4月	2025年3月	2024年3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	8 計
						82,618千円	82,618千円
1	岐阜市ワークダイバーシティ推進事業		関連するKPI		①、③		
	<p>・女性の就業・活躍促進事業:女性求職者向け連続講座を実施する。(地域女性活躍推進交付金対象事業のため、事業費の計上無し)</p> <p>・WORKDIVERSITY実証化モデル助成事業:さまざまな「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて就労支援を行う。(公財)日本財団のモデル事業)</p> <p>・若者・学生の就労支援事業:令和4年度はゼロ予算で若者・学生の就労にかかる実態を把握するため、市内の大学等の協力を得て実態調査を行った。令和6年度は無業・不安定な状況にあり孤立化する恐れのある若者・学生の求職者向け連続講座の実施及び市内事業者向け働きづらさを抱える若者・学生の特性や適性の理解などをテーマにした啓発セミナーを開催する。</p> <p>・補助金:11,285千円</p> <p>→ワークダイバーシティ推進のためのモデル事業として実施するもので、求職者の募集・受付や求職者と就労移行支援事業等との仲介を行う事業者1者に対し、その運営に係る経費(人件費や広報、消耗品等)として総事業費の2割を補助するもの</p> <p>・委託費:3,135千円</p> <p>→市内事業者向けの啓発セミナーや求職者(若者・学生)向けの講座等を委託により実施するもの。委託事業者についてはプロポーザルにより選定</p>				14,420千円		
2	超短時間雇用創出事業		関連するKPI		①、②		
	<p>障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。</p> <p>概要としては、令和4年度に開設した岐阜市超短時間ワーク応援センターについて、令和5年度以降も引き続き東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらいながら、体制を強化する。</p> <p>また、令和5年度は当該事業や応援センターを周知するとともに、当該事業の推進のために重要な職務定義を企業等とともに実施するワークショップを開催する。</p> <p>(岐阜市超短時間ワーク応援センター)</p> <p>・委託料:13,382千円</p> <p>・消耗品費:20千円</p> <p>・管理諸費:35千円</p> <p>(東京大学先端科学技術研究センター)</p> <p>・委託料:900千円</p> <p>(ワークショップ関連)</p> <p>・報償費:40千円</p> <p>・旅費:47千円</p> <p>・需用費(食糧費、印刷製本費、通信運搬費):449千円</p> <p>・使用料及び賃借料:151千円</p>				15,024千円		
3	ぎふ仕事フェア		関連するKPI		③		
	<p>岐阜連携中核都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が参加する合同企業説明会をハイブリッド形式で実施する。</p> <p>・事業用品費:1千円</p> <p>・郵便料:16千円</p> <p>・会場使用料:482千円</p> <p>・業務委託料:9,300千円</p>				9,799千円		
4	WLB優良事業者紹介コンテンツの作成		関連するKPI		③		
	<p>WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的に行っている企業等(岐阜市男女共同参画優良事業者)の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信する。</p> <p>・委託料:670千円</p>				670千円		
5	バス運転手雇用支援事業		関連するKPI		③		
	<p>公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援する。</p> <p>・負担金:600千円</p>				600千円		
6	リノベーションまちづくり事業		関連するKPI		②		
	<p>まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源(お店、人、空間、歴史、文化など)の魅力を活かした体験プログラムを開催し、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。</p> <p>・業務委託料:32,015千円</p>				32,015千円		
7	スタートアップ支援補助金		関連するKPI		③		
	<p>市内で新たに創業する方や第二創業、創業後5年以内の市内中小企業者及び個人事業主等の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援する。</p> <p>・補助金:10,000千円</p> <p>・報酬:83千円</p> <p>・旅費(委員費用弁償):6千円</p> <p>・食糧費:1千円</p>				10,090千円		
8	三輪地域における「ものづくり産業等集積地計画」推進事業		関連するKPI		③		
	<p>三輪地域における民間活力による農業6次産業化の事業展開の可能性調査を推進し、早期の事業展開を図る。</p> <p>・委託料:0千円</p>				0千円		

<2025年度(4年目)>

事業延長期間

○

全事業期間における本年の位置付け		「多様な働き方(雇用)」と「働く場の創出(成長)」の好循環の強化					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025年4月	2026年3月	2025年3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	8 計
						8	52,093千円
						8	52,093千円
1	岐阜市ワークダイバーシティ推進事業						①、③
	<p>・女性のDXキャリア形成・活躍促進事業:女性求職者向け講座を実施する。(地域女性活躍推進交付金対象事業のため、事業費の計上無し)</p> <p>・WORK!DIVERSITY実証化モデル助成事業:さまざまな「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて就労支援を行う。</p> <p>・若者・学生の就労支援事業:無業・不安定な状況にあり孤立化するおそれのある若者・学生の就労を支援するため、若者・学生向けの講座と市内事業者向けの啓発セミナーを開催する。</p> <p>・就労支援起業に対する補助金:11,303千円 (補助対象者:就労支援企業、補助対象経費:総事業費、補助率:10/10、補助上限:総事業費の2割) →ワークダイバーシティ推進のためのモデル事業として実施するもので、求職者の募集・受付や求職者と就労移行支援事業所等との仲介を行う事業者1者に対し、その運営に係る経費(人件費や広報、就労移行支援事業所等の利用料等)として総事業費の2割を補助するもの</p> <p>・求職者向け講座等開催経費(委託費):3,200千円 →市内事業者向けの啓発セミナーや求職者(若者・学生)向けの講座等を委託により実施するもの。</p>						14,503千円
2	超短時間雇用創出事業						③
	<p>障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。</p> <p>概要としては、岐阜市超短時間ワーク応援センターについて、東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらいながら、体制を強化する。</p> <p>また、当該事業や応援センターを周知するとともに、当該事業の推進のために重要な職務定義を企業等とともに実施するワークショップを開催する。</p> <p>(岐阜市超短時間ワーク応援センター)</p> <p>・超短時間ワーク応援センター業務経費(委託料):14,423千円 企業に対する雇用啓発、企業の斡旋、就労者の相談対応等を実施するもの。</p> <p>・消耗品費:0千円 ・管理諸費:35千円 (東京大学先端科学技術研究センター)</p> <p>・委託料:0千円 ・報償費:240千円 ・旅費:93千円 ・需用費(食糧費):1千円 (ワークショップ関連)</p> <p>・報償費:0千円 ・旅費:0千円 ・需用費(食糧費、印刷製本費、通信運搬費):0千円 ・使用料及び賃借料:0千円</p>						14,792千円
3	きふ仕事フェア						③
	<p>岐阜連携中枢都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が参加する合同企業説明会を実施する。</p> <p>・事業用品費:0千円 ・郵便料:0千円 ・会場使用料:248千円 ・就職合同説明会開催費用(委託料):8,574千円 就職合同説明会を開催し、就職の機会を創出するもの。</p>						8,822千円
4	WLB優良事業者紹介コンテンツの作成						③
	<p>WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的にを行っている企業等(岐阜市男女共同参画優良事業者)の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信する。</p> <p>・コンテンツ作成経費(委託料):638千円 優良事業者紹介コンテンツを作成するもの。</p>						638千円
5	バス運転手雇用支援事業						③
	<p>公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援する。</p> <p>・負担金:300千円</p>						300千円
6	リノベーションまちづくり事業						②
	<p>まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源(お店、人、空間、歴史、文化など)の魅力を活かした体験プログラムを開催し、まちと多様にかかわる機会を提供することを通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。自分の好きなことをまちの中で実現できる仕組みを構築し、まちで豊かに暮らすことができる体験プログラムを創出する。</p> <p>・体験プログラム運営経費(委託料):13,038千円 まちの新旧の様々な資源の魅力を活かした体験プログラムを開催に係る運営を行うもの。</p>						13,038千円
7	スタートアップ支援補助金						③
	<p>市内で新たに創業する方や第二創業、創業後5年以内の市内中小企業者及び個人事業主等の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援する。</p> <p>・補助金:0千円 ・報酬:0千円 ・旅費(委員費用弁償):0千円 ・食糧費:0千円</p>						0千円
8	三輪地域における「ものづくり産業等集積地計画」推進事業						③
	<p>三輪地域における民間活力による農業6次産業化の事業展開の可能性調査を推進し、早期の事業展開を図る。</p> <p>・委託料:0千円</p>						0千円

全事業期間における本年の位置付け		「多様な働き方(雇用)」と「働く場の創出(成長)」の好循環の深化					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026年4月	2027年3月	2026年3月	補正	年 月		年 月	
交付対象事業経費							47,593千円
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	8	計
							47,593千円
1	岐阜市ワークダイバーシティ推進事業 ・女性のデジタル人材育成・活躍促進事業:女性求職者向け講座を実施する。(地域女性活躍推進交付金対象事業のため、事業費の計上無し) ・WORK!DIVERSITY実証化モデル助成事業:さまざまな「働きづらさ」を抱える方を対象に、就労移行支援事業所等の支援プログラムを通じて就労支援を行う。 ・若者・学生の就労支援事業:無業・不安定な状況にあり孤立化するおそれのある若者・学生の就労を支援するため、若者・学生向けの講座と市内事業者向けの啓発セミナーを開催する。 ・補助金:11,303千円 (補助対象者:就労支援企業、補助対象経費:総事業費、補助率:10/10、補助上限:総事業費の2割) →ワークダイバーシティ推進のためのモデル事業として実施するもので、求職者の募集・受付や求職者と就労移行支援事業所等との仲介を行う事業者1者に対し、その運営に係る経費(人件費や広報、就労移行支援事業所等の利用料等)として総事業費の2割を補助するもの ・求職者向け講座等開催経費(委託費):3,300千円 →市内事業者向けの啓発セミナーや求職者(若者・学生)向けの講座等を委託により実施するもの。						14,603千円
2	超短時間雇用創出事業 障がいがある人、難病の人等の長時間働くことが難しい人が、週20時間未満でも働ける超短時間雇用の仕組みを活用することで、社会参加と自立につなげる。 概要としては、岐阜市超短時間ワーク応援センターについて、東京大学先端科学技術研究センターからアドバイスをもらいながら、体制を強化する。令和8年度から岐阜圏域全体で事業広域化を図るため、応援センター機能を強化する。 また、当該事業や応援センターを周知するとともに、当該事業の推進のために重要な職務定義を企業等とともに実施するワークショップを開催する。 (岐阜市超短時間ワーク応援センター) ・超短時間ワーク応援センター業務経費(委託料):20,580千円 (委託料内訳)人件費18,776千円、旅費87千円、需用費766千円、役務費374千円、 使用料・賃借料555千円、負担金22千円 企業に対する雇用啓発、企業の斡旋、就労者の相談対応等を実施するもの。 ・消耗品費:0千円 ・管理諸費:75千円 (東京大学先端科学技術研究センター) ・委託料:0千円 ・報償費:200千円 ・旅費:96千円 ・需用費(食糧費):1千円 (ワークショップ関連) ・報償費:0千円 ・旅費:0千円 ・需用費(食糧費、印刷製本費、通信運搬費):0千円 ・使用料及び賃借料:0千円						20,952千円
3	ぎふ仕事フェア 岐阜連携中枢都市圏を構成する近隣市町、岐阜労働局・ハローワーク岐阜と連携して市内及び近隣市町企業が参加する合同企業説明会を実施する。 ・事業用品費:0千円 ・郵便料:0千円 ・会場使用料:273千円 ・就職合同説明会開催費用(委託料):8,130千円 就職合同説明会を開催し、就職の機会を創出するもの。						8,403千円
4	WLB優良事業者紹介コンテンツの作成 WLB推進の必要性や男女共同参画社会に向けての活動などを、先駆的・積極的に行っている企業等(岐阜市男女共同参画優良事業者)の取り組みをモデル事業者として紹介するコンテンツを作成し、広くHPやSNSで発信する。 ・コンテンツ作成経費(委託料):545千円 優良事業者紹介コンテンツを作成するもの。						545千円
5	バス運転手雇用支援事業 公共交通事業における人材確保を目的として、岐阜市総合交通協議会が開催する高校生以上を対象とした運転手採用セミナーを支援する。 ・負担金:300千円						300千円
6	リノベーションまちづくり事業 これまでの取り組みにより掘り起こしたまちの多様なコンテンツ(人、お店、空間、歴史など)の情報を、まちづくりの担い手を中心に、収集・編集し、まちを楽しめるマップを作成。まちづくりの担い手や店舗などがマップを用いてまちの楽しみ方を発信することで、来街者がまちのコンテンツを日常的に楽しめる仕組みを整える。 ・マップ作成経費(委託料:人件費、報償費、需用費):2,790千円						2,790千円
7	スタートアップ支援補助金 市内で新たに創業する方や第二創業、創業後5年以内の市内中小企業者及び個人事業主等の方を対象とする、本市の課題解決に資する事業に係る経費を補助する等のスタートアップ支援する。 ・補助金:0千円 ・報酬:0千円 ・旅費(委員費用弁償):0千円 ・食糧費:0千円						0千円
8	三輪地域における「ものづくり産業等集積地計画」推進事業 三輪地域における民間活力による農業6次産業化の事業展開の可能性調査を推進し、早期の事業展開を図る。 ・委託料:0千円						0千円